

平成 18 年 03 月 28 日

ユニチカファイバー株式会社

株式会社アイセック

## ポリ乳酸素材“テラマック”繊維の教材採用について

ユニチカファイバー株式会社と株式会社アイセックは、この度、環境低負荷特性や生分解性などで注目されているポリ乳酸素材“テラマック”繊維を使用した中学、高校向家庭科教材を開発いたしました。

この教材は、学校教育の中で資源や環境に配慮した生活をしていくことの重要性について、3R（リデュース、リサイクル、リユース）等、社会の具体的な取り組みを、バイオマス（植物由来資源）を原料とする環境適合型合成繊維として、地球温暖化ガスの増加に関与しない環境低負荷特性や、生分解性などの特徴を持つポリ乳酸素材“テラマック”の生地を使って実際に学ぶようになっています。

本企画は教科書の中で文字のみで学ぶのではなく、実際の素材を手で触れ作ることで生徒たちの理解をより深め、実生活の中で習慣的な行動への反映に寄与するものと期待しています。

### 1. 企画の背景

温暖化にともなう地球環境の変化は、世界中に広がる異常気象や海水面の上昇、砂漠化の進行、生態系の変化など最近明確に感じられるようになり、環境保全について大人から子供まで一人ひとりが、毎日の生活の中で意識して取り組んでいかなければならなくなっているといえます。

昨年は「愛・地球博」が開催され、環境に配慮した環境博として大きな取り組みがなされました。また、政府主導で地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」がスタートして、クールビズ、ウォームビズが話題となっています。さらに、今年度（平成18年）の中学校家庭科教科書には、トウモロコシ等植物を原料とした生分解性繊維が使用され始めていることが記載されるようになりました。これらの活動が一過性のものではなく、資源を大切に、環境を守っていく心を子供の頃から自然に身に付けていくことが大切であると考えます。

石油資源を原料とした従来の合成繊維は、廃棄時の焼却により炭酸ガスなどの地球温暖化ガスを増加させます。これに対し、ポリ乳酸素材“テラマック”の原料であるとうもろこしなどの植物は、廃棄時には炭酸ガスを排出しても成長時には炭酸ガスを吸収する、いわゆるカーボンニュートラルであるため、炭酸ガスなどの地球温暖化ガスを増や

しません。教材としてカーボンニュートラルである“テラマック”を、生徒たちが直接手に触れることにより理解度が深められるようエプロン製作を通じて、また製作したエプロンを調理実習の授業の中や、家庭生活で活用することを通して学ぶものです。

## 2．教材の内容

“テラマック”繊維は耐熱性が不十分であるため、耐アイロン性を考慮すれば綿混等の混紡、交織、交編が好ましいといえますが、トウモロコシから作られたバイオマス素材としての素材感を知ってもらうことも重要との考えから、本教材はテラマック100%の紡績系の織物としました。

### 教材セット内容

商品名：「とうもろこし」でつくったエプロン

- ・型紙プリント済み布地（120cm巾×150cm）
- ・ひも（約80cm）
- ・手引

商品価格：1780円

## 3．頒布目標

バイオマス原料のポリ乳酸素材「テラマック」繊維の特性と、教材の内容を掲載したカタログを、全国の中学校、高等学校の全校（一部を除く約16,000校）へ平成18年4月に配布します。

今年度は、生分解性繊維が初めて教科書に掲載される初年度であることから、家庭科の大半の先生方に、トウモロコシ等の植物を原料とした生分解性繊維（テラマック）の特性を知っていただくことを主眼に、5%程度の学校での採用を予定しています。

今後とも、株式会社アイセック、ユニチカファイバー株式会社の両社は、テラマック素材を使用した教材を開発し教育分野での浸透を図るとともに、社会的な環境保全に留意した事業を積極的に推進していきたいと考えています。

発売日　：4月1日

以　上

< 参考 >

株式会社アイセックの会社概要

社名	株式会社アイセック
本社	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目29番16号 TEL.03-3878-1800
デザイン室	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目28番8号 TEL.03-3878-8322
商品センター	〒441-1337 愛知県新城市八名井字赤松1番6号 TEL.05362-4-5111
設立	1984年10月1日
資本金	3,000万円
代表者	代表取締役 伊勢宜央(いせよしお)
年商	6億2,000万円(2005年7月期)
業務内容	小中高等学校家庭科における教材教具の企画・製造および販売

